

# ロボコン代表への道

|     |      |       |      |       |      |       |
|-----|------|-------|------|-------|------|-------|
| 構成員 | 黒田隆彦 | 代表者   | 鈴木真人 | (工3年) |      |       |
|     | 石川智昭 | (工3年) | 鶴田敏成 | (工3年) | 鵜原彬充 | (工3年) |
|     | 安藤誠泰 | (工2年) | 宅野雄大 | (工3年) | 池田俊徳 | (工4年) |

## 1. プロジェクトの目的

私達は下記の目標を掲げ、今年度活動してまいりました。

- ・ロボットの製作・設計による技術の向上、及び工学的視野の拡大(目標としての「ロボコン」)
- ・多くの人たちに、ロボット・ものづくりに興味を持ってもらう(地域との積極的な交流活動)

## 2. プロジェクトの計画

「プロジェクトの目的」より以下の計画を設定しました。

- ・ロボットについてのスキルの向上  
勉強会を実施し、参加の容易な大会に出場し実戦経験を積む
- ・山口県立博物館へのロボットの出展
- ・「ロボコン」の一次審査に向けて、ロボットの構想を練る
- ・考えたロボットを実際につくる

## 3. 活動詳細

○平成20年4月～9月

- ・勉強会の実施、指導書の作成

今年度、私達は毎週土曜日に、勉強会を行いました。プロジェクトのメンバーは全員工学部生ですが、学科によって電気の知識が乏しかったり、機械の知識が乏しかったりします。そこで、ある学科のメンバーが他の学科のメンバーに自分の専門分野について教えあうことによって全体の知識レベルの向上を目指しました。結果、プロジェクトメンバーが全員、ロボット作成の全体図を今まで以上に把握できるようになりました。その成果物として指導書を作成しました。プロジェクトのメンバー構成は変化し続けますが、そのメンバーのレベルの維持、向上のためです。



図1 作成した指導書図



図2 勉強会の実施風景

- 山口県立博物館でのロボット展覧会への出展

8月に山口県立博物館で行われました、ロボット展に私達ロボット研究会は出展しました。地域との交流活動を積極的に行い、ロボットや物作りの楽しさを伝えて行くことを目標に、ステージでロボットの仕組みについて発表を行いました。ステージには多くの親子や子ども達に参加していただきました。

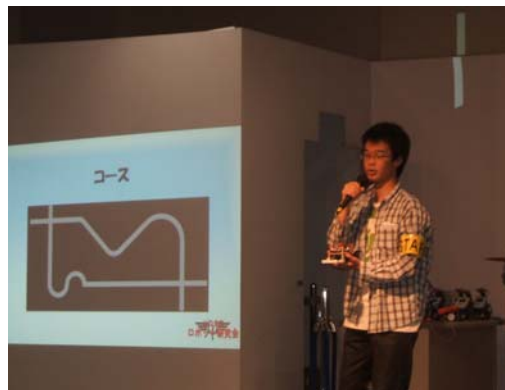


図3 発表風景

- E Tロボコン大会への出場

昨年9月に福岡のロボスクエアで行われた、E Tロボコン九州大会に出場しました。34の企業と大学などが参加した大会で、競技部門11位、モデリング部門20位、総合11位の成績を収めました。

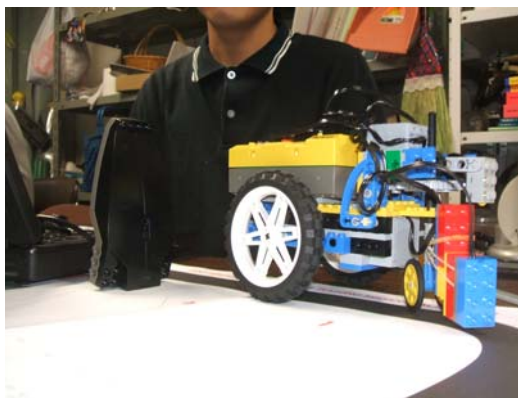


図4 E Tロボコン出場マシン

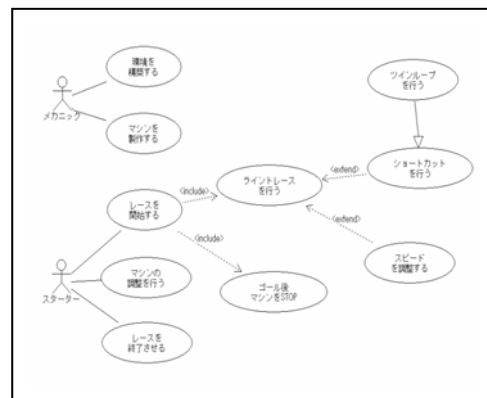


図5 ロボットの機能の設計図

○平成20年10月～

- NHKロボコンへの挑戦（一次選考）

NHKロボコンへ挑戦しました。惜しくも一次選考で落選しました。

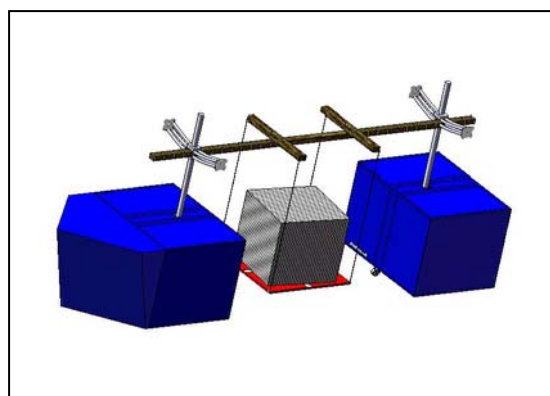


図6 考えたロボットのイメージ図

## 慶南青年カレッジ2008

|     |             |     |             |             |
|-----|-------------|-----|-------------|-------------|
| 構成員 |             | 代表者 | 松尾龍哉 (工2年)  |             |
|     | 谷口和博 (工2年)  |     | 中村あゆみ (経2年) | 一ノ瀬涼子 (教2年) |
|     | 太田奈央 (教2年)  |     | 倉富剛 (工2年)   | 桑野麻衣 (経2年)  |
|     | 下村あかり (教2年) |     | 末岡英明 (経2年)  | 檜垣沙也子 (経2年) |
|     | 布寺弘幸 (工2年)  |     |             |             |

### 1. プロジェクトの目的

山大生と韓国の学生を中心に、様々な活動を通じて相互交流を行う。両国の違いを認識できる活動を学生達自身が企画し、共に経験することで相互理解交流を目指す。今回このプロジェクトでは日韓学生交流だけでなく、活動の一環として地域社会との交流と貢献を目的とする。

### 2. プロジェクトの内容

日韓の学生がそれぞれお互いの国で交流イベントを催し相互理解を図る。この日韓学生交流イベントの名前を「アジアカレッジ」と称す。夏(8月)に日本で行うものを「夏アジ」、秋(10月)に韓国で行うものを「秋アジ」、冬(2月)に(今年は韓国にて)行うものを「OB会」とし、以下の日程で準備・運営等を行う。

※「OB会」とは、参加年度に関係無く参加できる交流イベントである。

<2月~4月>

- ・日本側の運営スタッフ・代表者(学生)の決定
- ・おもしろプロジェクトへの申請
- ・夏アジの計画

4月29日~5月4日

- ・今年度の韓国側参加者の勧誘のため韓国へ
- ・昌原大学・慶南大学・仁済大学・蔚山大学で「アジアカレッジ」のプレゼンの実施

<5月~6月>

- ・韓国側の代表者の決定
- ・参加者の勧誘

<7月>

19日・20日

- ・韓国側リーダー・副リーダーの来日
- ・日韓リーダー・スタッフ同士で話し合い・下見の実施

21日

- ・日韓の学生で、長門市青海島のくじら祭りに参加(代表者同士を親密にし、地域との交流を図るため)
  - ・くじら祭り後、漁師宅にホームステイ
- ※くじら祭りでは、和船競争、古式捕鯨の実演体験、韓国食品の販売を行った。古式捕鯨の実演体験では、日韓学生の男性陣が参加した。古式捕鯨のルールに則り、全員が赤ふんどしを締めて捕鯨(鯨の模型)に挑んだ。

22日

- ・韓国側代表者の帰国

23日～31日

- ・引き続き「夏アジ」の準備
- ・参加者の決定

<8月>

1日～18日

- ・日程・予約・参加者等の最終確認・準備

19日～27日 (夏アジ)

- 19日 : 下関で韓国側参加者を迎えた後、美祢市の桂岩ふれあいセンターへ。餅つき・そば打ちを体験
- 20日 : 朝、桂岩ふれあいセンターで流しそうめん体験後、広島へ。平和資料館で平和学習・語り部さんによる被爆体験の話、宿泊先での平和ディスカッション(平和や日韓について意見交換をする)
- 21日 : 岩国市へ。岩国寿司体験、錦帯橋観光後、山口市に戻り、学生宅ホームステイ
- 22日～23日 : 韓国側のみ一般宅ホームステイ
- 24日 : 婦人会館(カリエンテ山口)にて料理交流会。料理交流会では互いの国の馴染み深い料理を作る
- 25日 : 韓国の蔚山と姉妹都市である萩市庁舎へ行き表敬訪問。その後、同市の長寿寺にて宿泊
- 26日 : 長門市の青海島へ。民宿「沖千鳥」のそばで海岸清掃後、地引網漁体験の実施。収穫した魚等でバーベキュー。山口に戻り学生宅ホームステイ
- 27日 : 下関へ出発。昼食・自由行動をとったのち、韓国側帰国。山口に戻り解散

<9月>

- ・夏アジの打ち上げ兼秋アジ説明会の実施
- ・秋アジ参加者の決定

<10月>

3日～9日 (秋アジ)

- 3日 : 下関国際フェリーターミナルを出発。
- 4日 : 釜山港到着後、バスで公州へ移動。夕方から百済文化祭に参加。
- 5日 : 朝、独立記念館へ出発。独立記念館見学後、蔚山へ。
- 6日 : ナザレ園訪問。ナザレ園のおばあちゃんたちと交流。
- 7日 : 昼、釜山へ移動。夜、さよならパーティ。
- 8日 : 釜山市内観光。釜山港出発。
- 9日 : 帰国。

<11月～1月>

- ・来年度の学生スタッフの勧誘・決定等

<2月>

- ・OB会実施